

ISO9001 (品質管理システム) 内部監査プロセス

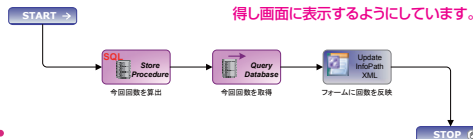
● 内部監査業務を更に強化しつつ、実運用に適合してゆく柔軟な業務へ ● 監査だけに終わらずその後の是正対処も確実に実行

InfoPathで作成した、内部監査実施計画書に入力した情報をもとに内部監査プロセスがダイナミックに流れていきます。

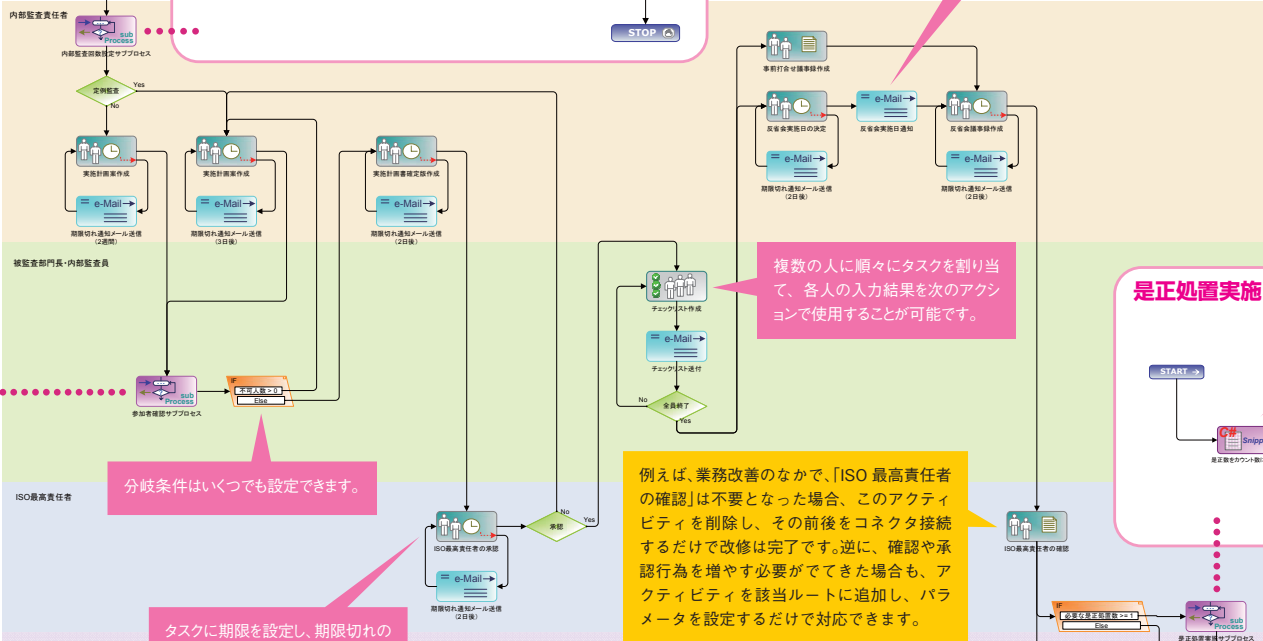


内部監査回数設定プロセス

データベースで内部監査プロセスの実施回数を管理し、自動的に今回の回数取得し画面に表示するようにしています。



電子メールテンプレートを指定します。一度作成されたテンプレートは再利用可能です。画面から入力された情報を本文に表示することもできます。



分岐条件はいくつでも設定できます。

複数の人に順々にタスクを割り当て、各人の入力結果を次のアクションで使用することが可能です。

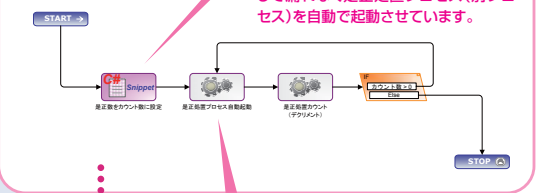
例えば、業務改善のなかで、「ISO最高責任者の確認」は不要となった場合、このアクティビティを削除し、その前後をコネクタ接続だけで改修は完了です。逆に、確認や承認行為を増やす必要がでてきた場合も、アクティビティを該当ルートに追加し、パラメータを設定するだけで対応できます。

タスクに期限を設定し、期限切れの場合のアクションを用意しておくことができます。

是正処置実施プロセス

AgilePointが使用するカスタムアトリビュートに値を設定することができます。

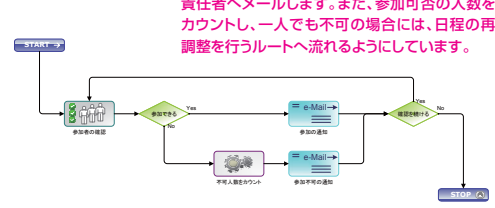
内部監査の結果、是正が必要な事象に対して漏れなく是正処置プロセス(別プロセス)を自動で起動させています。



VisualStudio.NETとともにAgilePoint Developerを使用して、独自の機能を開発できます。一度登録してしまえば、再利用可能です。

参加者確認プロセス

内部監査に参加する被監査部門長と監査員全員に日程の確認をとり、参加可否の通知をISO管理責任者へメールします。また、参加可否の人数をカウントし、一人でも不可の場合には、日程の再調整を行うルートへ流れるようにしています。



内部監査報告書保存プロセス

内部監査報告書(InfoPathフォーム)をSharePointポータルサイトのファイル保存用のフォルダへ自動で保存しています。



プロセスの一部をモジュール化できるため、追加や交換がしやすい構造にプロセスを設計できます。